



# ソレイユ便り

第53号

発行日 平成30年10月1日  
発行所 社会福祉法人堀川南会  
特別養護老人ホーム ソレイユ  
発行人 理事長 中川 功  
〒939-8055 富山市下堀 50-6  
TEL 076-425-6200  
FAX 076-425-6255  
E-mail soleil@star.ocn.ne.jp



防災について  
考える

生活相談員 島田 咲

集中豪雨による河川氾濫や強風被害などの自然災害がよくニュースになっています。私はソレイユ防災委員会に所属していることもあり、災害時の対策や地域でのボランティア活動に活かすことができればと『災害救援ボランティアリーダーコーディネーターリーダー養成研修会』に参加しました。

研修では防災には事前の備えが必要であること、電気やガスなどのライフラインが止まったときを想定して対策をたてることを学びました。また災害時の写真からニーズは何なのかをグループで考え話し合いました。そして、被災された方々の困りごとは個人で考えるのではなく地域単位で考え、地域全体で助け合う力を活かすことを学びました。

9月2日(日)には、高岡市総合防災訓練のなかで市町村災害救援ボランティアセンター設置運営訓練に参加しました。コーディネーターとしてではなく、ボランティア役でしたが、流れは理解することができました。

9月は大型台風21号、24号が日本列島を直撃して猛威を振るいました。富山県は他県のような大きな被害はありませんでしたが、災害を他人事ではなく身近に起こりうるものと改めて意識しました。

災害予測とその対策に向けての計画作成を行い、ソレイユと地域が助け合って協力できるように事前の備えに取り組んでいきたいと思えます。



## 「介護職員不足の今、思うこと」

当施設にお世話になって八カ月になりますが、当業界における喫緊の課題は何と言っても**介護職員不足**であります。当業界の有効求人倍率(約5倍)は全職種約2.5倍であり、県内の介護施設は限られた人財を取り合う状況です。ご利用者様から満足していただける

介護業務を今後も継続するには人財確保が絶対条件です。

人的余裕がない中で懸命に働いておられる介護職ほか職員の方々には本当に感謝していますが、今の人員を維持しつつ更に充実させるには、何が必要でしょうか。**ご利用者様のみならず、職員からも選ばれる施設・職場**であるためには目に見える待遇面での改善に加え、職員相互間の「信頼関係」の醸成が大切だと考えます。また、ソレイユ基本理念である**慈愛の心(リスペクト)**は、ご利用者様へはもちろん、当施設に勤務する職員全員にも当然向けられるべきものではないでしょうか。

これらの着実な実践こそが、今まで以上にご利用者様・職員の皆さんから「ありがとう」の声が飛び交う施設・職場に結びつくものであり、実現に向けて出来るところから始めたいと思っています。

皆様のご支援・ご協力宜しくお願い申し上げます。

事務長 山本徹雄

事務長さんの趣味のひとつが、釣りで、釣りが好きです。海に落ちないように、大物を釣りに上げてくださいます。



# すみれ・すずらん・ひまわり

夏生まれの誕生者様を  
皆さんとお祝いしました！  
ロールケーキも好評で喜んでい  
ただけました♪



おめでとう  
ございます  
♪



中庭で育てたトマトを  
収穫！  
甘く煮込んでいただき  
大好評でした！

# つつじ・ききょう・あやめ



7月に入居者様と一緒に、  
スイカ割りや風船転がしをして  
運動しました。  
スイカジュースは甘くて大好評  
でした！！



スイカジュース  
いただきまーす☆

頑張ったよ!!



# さくら・あさがお

大きいな～



8月にさくら・あさがおユニットで、スイカ割り大会を行いました。  
もちろん最後は、入居様が美味しくスイカをいただいています♪



とても、美味しい♪

# デイサービス

24分間の電車の旅を楽しんできました～！



富山駅からポートルムに乗り、岩瀬へ行ってきました!(^^)!岩瀬名物三角どら焼きを買って帰ってきましたよ！



電車はひさしぶりやねえ～！



岩瀬名物 三角どら焼き



## リレー連載

# 【私のベストショット】⑨

## 《私のように、神秘的》

私は無類のイルミネーション好きです。毎年いろいろなところへ見に行くことを楽しみにしています。

この写真は、最近行った福井県のスキージャム勝山の「ジオ・イルミネーション」で撮ったものです。恐竜世界をコンセプトにして演出されており、キラ☆キラと輝いて、とても神秘的でした。

介護主任 斎藤正美



## 高校生と交流 「福祉の魅力体験バスツアー」

7月26日(木)9:30~16:00

福祉の仕事に興味がある高校生さん10名(女性5名、男性5名)が、ソレイユでの職場体験に参加されました。

職員の腰痛予防と利用者様の自立支援のための福祉用具使用見学や高齢者疑似体験、レクリエーションに参加するうちに、最初の緊張感も薄れていったようです。

このような機会を通じて、介護職を目指す若者が増えますようにと大きな期待を寄せています。



入社2年目の若手女子職員が、「働きかけ」や「心に残る出来事」について皆さんに熱くお話ししました。

## ◎笑って満足 楽しい企画

ショートステイご利用者は不安な気持ちを抱えて入所されます。それぞれ持っておられる特技趣味を生かして不安を解消して、満足していただけるよう、また仲間とも楽しんでいただけるレクリエーションを実施しています。



## ◎最強台風の爪痕

25年ぶりの最強台風21号が日本上陸し、富山県でも交通機関の運休や商業施設等の営業時間短縮など、影響を受けました。ソレイユでは、駐車場のフェンスにいくつ

か取り付けてあった注意喚起のラミネートカードが、強風で全て無残に引きちぎられていました。もっと丈夫なものに取り換える必要がありますね。



## ◎高齢者虐待防止の勉強会



高齢者虐待防止委員会が主催し、全ての職員が出席できるように3回実施しました。疑似体験とグループワークから適切なケアについて考えました。余談になりますが、高齢者役の女子職員の演技力が、舞台女優の如く素晴らしかったです。

【編集後記】訪問した利用者さんの自慢の庭で、花を眺めながらお話をしていると「持っていかれ」と言われて、お土産に真っ赤なケイトウの花を包んでくださいました。これから、秋にケイトウの花を見るたびにこの嬉しい気持ちを思い出すんだろうな～

【寺岡記】

